

身の回りの薄膜 触れ合う薄膜 “癒し系” ロボット

概要

人からの働きかけに反応し、感情表現も行える可愛いロボットたち。人はまるでペットと触れ合う時のようにロボットに愛着を感じ、安らぎや生活に潤いを得ることができる。

現在はそればかりではなく、入院中の子供たちや介助を受けているお年寄りたちに明るい笑顔をもたらしている（ロボット・セラピー）。ここでも真空薄膜技術が活躍しています。写真はメンタルコミットロボット「パロ」ちゃん。

認識原理

視覚センサー	→	光・明るさ
聴覚センサー	→	音・音源方向
触覚センサー	→	部位・強度
平衡感覚センサー	→	自分の姿勢



「パロ」には、フォトICなどを素材とするセンサーが鼻・ひげ等に内蔵されています。なお、フォトICなどの最先端センサー素材も真空薄膜技術の一分野である重合プロセス技術を活用して作られています。

情報提供：産業技術総合研究所